

第 65 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和 2 年 9 月 3 日（木）10 時 00 分から 11 時 50 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委員）

水谷会長、嶋津副会長、飯田委員、石村委員、柴田委員、清水委員、武智委員、玉川委員、長命委員、南野委員、原委員、福井委員、横内委員

（大阪市）

青野環境局長、堀井環境局理事兼エネルギー政策室長、嶋村総務部長、川畠事業部長、吉村企画課長、西尾事業管理課長、城戸一般廃棄物指導課長、川戸企画課長代理（司会）

（大阪広域環境施設組合）

蓑田事務局長、金子施設部長

4 議 題

- ・令和元年度ごみ処理量等について
- ・家庭系ごみ減量施策の拡充について
- ・その他

5 議事要旨

（1） 大阪市から、「令和元年度ごみ処理量」、「ごみ減量の進捗状況」、「新型コロナウイルス感染症拡大によるごみ量への影響」についての報告と、検討事項として「家庭系ごみ減量施策の拡充について」について説明があった。

（2） 委員からの意見等概要

ア 家庭系ごみ収集への経済的手法の導入の是非の前に、市が行ってきた家庭系ごみの減量施策について、これまでの効果検証が必要ではないか。

イ 経済的手法を導入すると、一時的には排出抑制に動くだろうが、長期的に考えると、なぜごみの減量や資源化が大事かということを理解することが非常に重要であり、イベントだけでなく学校教育を通じて啓発することが必要ではないか。

ウ 経済団体のごみ減量の取組として、コロナに関わる過剰在庫や在庫不足について、ネット上での情報交換の場の提供や、食品ロスをうまく流通させるための取組をしているスタートアップ企業への支援を実施している。

エ 流通業界の食品ロスの取組として、百貨店での小分け販売やこれまでは捨てられていた災害備蓄品の子ども食堂などへの提供、スーパーにおける少量パック販売やフードドライブを実施している企業もある。

オ 市民団体のごみ減量の取組として、イベント等でマイ箸の持参を呼びかけたり、フードドライブの呼びかけなどの活動を続けている。

（3） 大阪市の意見概要

減量施策の効果検証については、可能な限り数字が出せる部分については数字で、数字で出ない部分については、効果が見られるものを探しながら分析していきたい。

コロナによる生活スタイルの変化など、今後の状況も分析しながらごみの減量・リサイクルの推進に努める。

6 会議資料

第 65 回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料